3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　令和５年９月11日から令和５年10月26日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　令和５年９月15日11時00分
⑵　開催場所　オンライン開催
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 14
⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Virtualization infrastructure for medical information systems in hospital 1 Set
⑶　Type of the procurement : Rent
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　The medical equipment, departmental systems, etc. used in the hospital should be configured with a virtualized system, which can be smoothly operated and managed, and should have an overall information security management function.
B　The virtualization infrastructure should be supported at least Windows and Linux.
C　This system should be accommodated at least 120 systems, with a total CPU core of at least 200, a total memory capacity of at least 1 TB, and a storage capacity of at least 70 TB to be considered.
D　The system should be designed for continuous operation 24 hours a day, 365 days a year, and should be capable of continuing operation even in the event of a failure of some equipment.
E　This system should be able to perform backups in a short period of time, considering that it operates a system that handles important information. In addition, the system should be able to respond to emergencies such as events caused by malware, etc.
F　The network connection of this system should be based on IP connection, and it should be able to link with existing systems and medical devices in the hospital. In addition, the system should be able to support IPv6 operation.
G　Considering the connection between this system and external systems such as regional medical networks, the system should be able to be configured for secure communication from this system using VPN and firewalls.
H　Considering the increase in cyber-attacks, the virtualization platform should be able to provide anti-malware and monitoring.
I　This system should be composed of a nonstop system and should be the performance that is able to guarantee the high speed response on each application.
J　This system should be considered for BCP compatibility such as remote backup.
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　26 October, 2023
⑹　Contact point for the notice : Igarashi Akihiro, Procurement Section, Accounting Division, Finance Department, University of Fukui, 23―3 Matsuokashimoaizuki Eiheiji-cho Yoshida-gun Fukui 910―1193 Japan, TEL 0776―61―3111 ex. 3145

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
令和５年９月11日
国立大学法人浜松医科大学
理事　河本　雅弘
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　22
○第３号
1　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量　キャンパス情報システム　一式
⑶　調達方法　借入
⑷　導入予定時期　令和７年度９月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
A　本システムは、各種サーバ群、端末コンピュータ群、その他関連機器から構成されること。主なシステムは次の通り。ＤＮＳサーバ、監視通知用E-Mailサーバ、統計処理ソフト用ライセンスサーバ、遺伝情報処理ソフト用ライセンスサーバ、認証サーバ、シンクライアントシステム（ＶＤＩ、シンプロビジョニング方式）、ＡＤサーバ、ファイルサーバ、バックアップサーバ、ＩＣカード身分証発行システムおよび連携するActiveDirectoryアカウント作成システム、エッジルータ、ファイアウォール、Ｌ３コアスイッチ。
B　外部との接続のみならず、学内通信もネットワークポリシーおよび未知のウイルス検知が可能である構成が望ましい。
C　本学はMicrosoft 365（Ａ１）を採用している。Azure Active Directoryと学内ＡＤの情報を安全に同期させること。
D　職員／学生を一意に識別するキーの変更を予定している。その場合もこれまでのメールアドレス（キーと同一である必要はない）の継続利用は必要であることから、ベンダーはＡＤ、Microsoft 365、ＬＤＡＰ、学認に対する高度な知識を有すること、また、実績例を提示すること。
E　Microsoft 365に対するサポート実績を有することが望ましい。
F　クラウド上のサービスを利用する場合はAzureによる多要素認証を積極的に活用したい。ただし必ずしもＳＳＯを必要としない。
G　本調達外のサーバを含む各種サーバに対し、脆弱性をチェックする機能を備えること。
H　不正侵入検知のための「リモートによるネットワーク監視・運用委託サービス」を含むこと。
I　サーバ、ネットワーク機器のイベントログ／syslog／ＳＮＭＰトラップ等を収集／検索可能な管理ツールを含むこと。
J　障害の有無やリソースの把握を可能とする運用管理ツールを含むこと。本調達外の機器も管理対象に含むことができることが望ましい。
K　シンクライアントシステムは画面転送方式とし、端末電源投入からログイン完了まで１分以内であることが望ましい。
L　情報処理実習室に設置する端末は医学部共用試験（ＣＢＴ）に対応すること。
M　キャンパス全域に広がる無線ネットワークシステムを提供すること。
N　有線／無線を問わず、不具合（不安定、切断）が散見される状態である。再現性がない状況に対して高度な技術を駆使したトラブルシュートを実現してもらいたい。そのための体制および工夫をこれまでの実績を含めて示すこと。
O　本学とベンダーとの認識齟齬を回避するための障害管理（チケット管理）機能を備えること。添付資料はプレビューが可能であり、モバイルアプリが提供されていることが望ましい。
P　キャンパスネットワークに本調達以外の端末が接続される場合は、正規の利用者による端末のみに制限できる認証の仕組みとして「CaptivePortalに代わる認証方式」を提案すること。
Q　クラウド環境へ構築した場合のインターネット経路、メンテナンス回線用経路、ファイアウォール設置位置、ボトルネック、費用等を記載すること。費用はサンプルケースを想定してかまわない。
R　いまだに構築時の設定ミスが新たに露呈し、その対応に追われるなど、本来想定したシステム性能を発揮できているとは言えない状況である。構築時のトラブルを最小限にするための体制および工夫をこれまでの実績を含めて示すこと。
S　システムの障害を未然に防止し，障害発生時には即時に対応できるようなサポート体制が提供されることは安定した運用の大前提である。それを実現するための体制および工夫をこれまでの実績を含めて示すこと。
T　導入したシステムに関する脆弱性、バージョンアップ、サポート終了情報については積極的にベンダーから情報提供していただきたいところ、現状はそれらが後手となり苦慮している。これらを改善するための体制および工夫について実績を含めて示すこと。